令 和 4 年 概 況

令和 4 年の釧路港への水揚は、数量で 17 万 2,554 トン（前年 20 万 4,499 トン）、金額は 105 億 3,710 万 7 千円（前年 88 億 6,094 万 9 千円）となり、前年と比較して数量 3 万 1,945 トンの減となったが、金額は 16 億 7,615 万 8 千円の増となった。

水揚全国順位は、数量で 2 位（前年 2 位）、金額で 14 位（前年 14 位）であった。

（沖合底曳網漁業）

数量はスケトウダラが不振だったため、3 万 5,664 トン（前年 5 万 814 トン）で 15,150 トンの減となったが、イカの数量が前年と比べて増えたことや、魚価の上昇により金額は 36 億 6,351 万 1 千円（前年 32 億 1,314 万 1 千円）と、前年より 4 億 5,037 万円の増となった。

（さけます漁業）

日本 200 海里内で操業する小型鮭鱒漁業は、数量 76 トン（前年 48 トン）で前年より 28 トンの増、金額では 4,478 万円（前年 2,793 万 4 千円）となり、前年より 1,684 万 6 千円の増となった。

（まき網漁業）

前年と比較し、数量は 13 万 4,412 トン（前年 15 万 297 トン）で前年より 15,885 トンの減となったが、円安の影響などでミール単価が上昇したため、金額は 60 億 5,624 万 2 千円（前年 48 億 5,617 万 4 千円）で前年より 12 億 6 万 8 千円の増となった。

（さんま棒受網漁業）

今年も引き続き、釧路近海で漁場が形成されず、操業場所も公海上と遠いことなどが影響して、数量は 25 トン（前年 116 トン）で前年より 91 トンの減、金額では 1,659 万 8 千円（前年 5,574 万 1 千円）で、前年より 3,914 万 3 千円の減となった。

（いか釣り漁業）

前年と比較し、数量は 200 kg（前年 1 トン）で前年より 800 kgの減、金額では 16 万 4 千円（前年 39 万 2 千円）で、前年より 22 万 8 千円の減となった。

（沿岸漁業・その他）

数量は前年を下回ったが、金額は前年を上回った。